

# リハビリテーション科学領域 生体構造学分野 博士後期課程 3年 川島将人氏の研究論文が Histochemistry and Cell Biology の表紙に採用されま した。

---

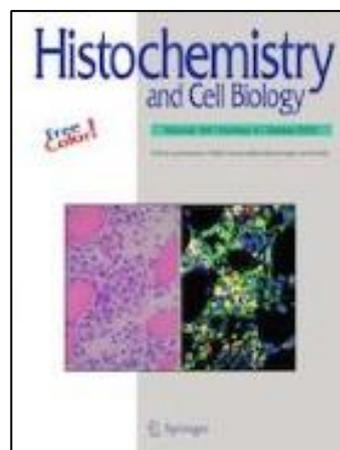
2020年10月16日

リハビリテーション科学領域 生体構造学分野 博士後期課程 3年川島将人氏  
(指導：荒川高光准教授)の研究論文が Histochemistry and Cell  
Biology (IF=3.418 (2019))の表紙に採用されました。

またこの号の Highlight の一つとして紹介されています。

<https://link.springer.com/article/10.1007/s00418-020-01921-6>

川島氏のグループは、実験動物の後肢を非荷重にする尾部懸垂を施すと、損傷部に集積する iNOS 陽性マクロファージの集積が遅延し、その量も少なくなること、さらに再生部での活性化衛星細胞が減少していることを明らかにしました。以上のことが原因となって、尾部懸垂が筋再生を阻害すると明らかにしました。



表紙